

平成 15 年 9 月 22 日

共通教育委員会への引継ぎについて

奥田一雄

平成 15 年 10 月 1 日より、新しい高知大学がスタートする。これと同時に、共通教育委員会は新たに医学部の委員が加わり、5 学部からなる共通教育を審議する機関となる。新しい共通教育委員会へ引継ぐにあたり、現在考えられる課題を整理する。

◎共通教育主管の役割

大学教育（学士課程教育）を構成する共通教育（広義教養教育）の企画・実施・改善・評価の全ての管理運営責任を担う。さらに、この使命を達成するため、学部の権益と利害を離れた部局長の一人として、人事・予算・施設を含む全学の教育研究方針の決定と実施に責任を負う。

（補足説明）共通教育主管は、全学の共通教育を実施する責任を持ち、学部の協力の下で、また、学部から独立して全学の共通教育の組織運営にあたらなければならない。共通教育に専任教員は配置されていないので、全学の学部教員が共通教育を担当する。そのため、共通教育主管は全学の信任を受けるプロセスを少なくとも 1 度は踏んで選出されてきた（各学部および共通教育委員会から主管候補者 2 名の選出、学長は選出されてきた主管候補者から 1 名を指名）。共通教育主管が副学長および学長指名評議員と異なる選出方法をとってきた理由は、大学執行部と一線を画した共通教育実施責任部局長として役割を担うからであり、また、そのことが根拠となり、共通教育主管が学部長とともに運営会議と全学教官定員管理委員会を構成する委員になっている。

=教育=

1. 共通教育：責任部局長として専決事項を審議，決定，実施するとともに，大学における教養教育を調査・研究し，その重要性を全学に周知する義務を負う。
 - ・共通教育委員会 委員長
 - ・共通教育自己点検評価委員会 委員長
2. 全学教育：4 年一貫学士課程教育の両翼たる共通教育と専門教育の有機的連携のため，専任所属教官を持たない共通教育を，組織的に担保する役割を果たす。
 - ・教務・専門教育委員会 副委員長
 - ・全学教育委員会 副委員長
 - ・大学教育開発委員会 委員
 - ・学芸員資格教育実施専門委員会 委員長

=大学運営=

共通教育実施責任部局長として、また、大学執行部の一員として、全学的見地から、全学の方針の立案、検討、決定、実施に直接関与し、応分の責任を果たす。

1. 全学の方針等の重要事項の審議・決定

- ・運営会議 委員
- ・評議会 評議員

2. 全学の定員管理・人事に関すること

- ・全学定員管理委員会 委員

3. 全学の予算に関すること

- ・全学財務委員会 委員

4. 全学の自己点検・評価に関すること

- ・大学点検評価委員会 委員
- ・大学点検評価機構 委員

◎共通教育の課題

緊急（15年度中）

1. 共通教育委員の選出

- ・農学部3号委員
- ・副委員長
- ・医学部2号および3号委員

2. 16年度カリキュラム編成，担当者および時間割決定

- ・学部基本数内での学問分野間のコマ数移動
- ・教育学部分野無指定のコマ数配分
- ・人文学部の定員を教育学部が運用することによる授業担当の変更
- ・「健康」の担当体制
- ・従来，双方の大学間で行われてきた非常勤講師による共通教育の授業
- ・教養科目における授業の展開と各学部の系別単位配当
- ・共通教育履修案内

3. 外国語教育改善

- ・オンライン英語学習システムの活用ガイドライン
- ・インテンシブ英語セミナー（6単位）の certificate
- ・習熟度別小人数クラス

4. 共通教育自己点検委員会

- ・2学期学生アンケートの実施
- ・2年4学期にわたる学生による授業評価の分析

5. 会議出席

- ・中国四国地区国立大学教養教育実施組織代表者会議・事務協議会
- ・大学教育学会課題別集会

6. 学芸員資格教育実施専門委員会関係

- ・博物館実習
- ・博物館学集中講義

短期的課題（すぐに検討開始し、15年度中に大枠決定）

6. 17年度以降の共通教育担当体制の構築

- ・一般教育担当標準教員数と学部基本数
- ・開講授業と学部担当コマ数

7. 大学教育創造センター（今すぐ開始し、15年度中には業務開始）

- ・センター長および専任教員の人事
- ・センターの役割と教育実施委員会およびFD関連委員会との関連
- ・センター機能と運営のサポート

中期的課題（中期目標・計画、17年度概算要求に向けて）

8. 教育研究組織の転換改組

- ・学部改組（専門教育・研究組織の改革）
- ・教育改革（グランドデザインに基づく学士課程教育の構築）

◎主管在任期間（平成12年10月～平成15年9月）の総括

（平成11年4月～平成12年9月、カリ部会長）

主な着手事業

- ・共通教育自己点検評価（平成12年11月報告書刊行）
- ・共通教育外部評価（平成12年12月実施、平成13年2月報告書刊行）
- ・平成12年度文部省教養教育改善充実特別事業報告書「大人数下における教養教育の改善に関する調査・研究」（平成13年3月）
- ・総学科目担当者懇談会（平成13年3月実施、平成14年3月論集6巻）
- ・新規外国語開設（韓国語（朝鮮語）、平成12年度から）（スペイン語、平成13年度から）
- ・ホームページ経由によるシラバス作成と提出システムの導入（平成13年1月）
- ・222番教室改修と空調：平成12年度施設整備費
- ・平成13年度共通教育プロジェクトチームの設置
- #シラバスの向上・電子掲示板PT：学長裁量経費（1000万）→全学シラバス電子化プロジェクトに拡大し、平成14年度から実現
- #学生による授業アンケートPT：文部省教養教育改善充実特別事業経費（95.3万）＋全学教育経費（350.5万）→学生による授業評価研究チームとし、13年度2学期にプレテス

ト実施，報告書刊行（平成 14 年 2 月）

- ・平成 13 年度点検評価年報分担執筆（平成 14 年 3 月刊行）
- ・大学評価・学位授与機構による全学テーマ別評価，平成 13 年度実情調査票の執筆作成
- ・大学評価・学位授与機構による全学テーマ別評価，平成 14 年度自己調査書の執筆作成
- ・210 番教室の多目的ホール化：平成 13 年度大学分教育基盤経費（1339.5 万）＋大学改革推進経費（828.5 万），開所式挙行
- ・共通教育レビュー：全学教育経費（200.5 万），平成 14 年 3 月報告書刊行
- ・共通教育新規授業開設（英語レクチャー，平成 13 年度から；死を考える，海の進化請託学，平成 14 年度から）
- ・平成 14 年中国四国地区国立大学教養教育実施組織代表者会議・事務協議会主催
- ・高知大学・高知医科大学統合概算要求説明書，大学教育の項目の執筆作成
- ・大学教育創造センター概算要求説明書執筆作成
- ・平成 14 年度点検評価年報分担執筆（平成 15 年 3 月刊行）
- ・学生による授業アンケートのルーティン化：平成 14 年度全学教育経費（170.4 万）
- ・基軸「英会話」プレースメントテストによる習熟度クラス編成（平成 15 年度から実施）
- ・基礎教育科目の補習的科目の実質化（60 時間 2 単位，平成 15 年度から実施）
- ・平成 15 年中国四国地区国立大学間共同授業（SCS 授業）の主管大学
- ・外国語教育改善充実 PT：平成 14 年度学長裁量経費（275 万），トイック受験，平成 15 年 9 月報告書刊行予定
- ・基軸「英会話」習熟度別小人数クラス編成のための時間割変更（平成 16 年度から）
- ・教養教育インテンシブ英語授業の新規開設
- ・オンライン英語学習システムの導入：平成 15 年度大学分教育基盤設備費（679.2 万）
- ・210 番教室空調工事：平成 15 年度大学分教育基盤設備費（528.3 万）＋学長裁量経費（1000 万要求中）
- ・入試過誤に伴う正規入学生の対応（教育のリカバリーと賠償）